

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月29日

上場会社名 東日本旅客鉄道株式会社
 コード番号 9020 URL <http://www.jreast.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月8日

上場取引所 東 大 名

(氏名) 清野 智
 (氏名) 松崎 哲士郎

TEL 03-5334-1300

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	660,156	—	119,991	—	94,601	—	63,751	—
20年3月期第1四半期	652,850	1.9	123,196	11.9	94,884	2.9	54,947	0.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	15,953.21	—
20年3月期第1四半期	13,750.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%			円 銭	
21年3月期第1四半期	6,860,639		1,680,280		24.1		413,965.45	
20年3月期	6,942,002		1,622,005		23.0		399,482.72	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 1,654,271百万円 20年3月期 1,596,398百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5,000.00	—	5,000.00	10,000.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	5,500.00	—	5,500.00	11,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

21年3月期(予想)の1株当たり配当金については、株式分割を考慮しない額を記載しております。詳しくは2ページ(ご参考)株式分割後の業績予想および配当予想についてをご覧ください。

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	1,365,000	—	258,000	—	201,000	—	117,000	—	29,278.12
通期	2,753,000	1.8	456,000	2.4	343,000	1.9	197,000	3.9	49,297.35

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

21年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、株式分割を考慮しない額を記載しております。詳しくは2ページ(ご参考)株式分割後の業績予想および配当予想についてをご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 4,000,000株 20年3月期 4,000,000株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 3,842株 20年3月期 3,837株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 3,996,161株 20年3月期第1四半期 3,996,188株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、さまざまな要素により異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

—なお、業績予想については、2ページ(ご参考)株式分割後の業績予想および配当予想について「および3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照下さい。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(ご参考) 株式分割後の業績予想および配当予想について

当社は、平成 20 年 4 月 28 日開催の取締役会決議および平成 20 年 6 月 24 日開催の第 21 回定時株主総会における定款変更の承認可決に基づき、「株式等の取引に係る決済の合理化を図るための社債等の振替に関する法律等の一部を改正する法律」(平成 16 年法律第 88 号)の施行日の前日を効力発生日として普通株式 1 株につき 100 株の割合で株式分割することとしております。当該株式分割が期首に行われたと仮定した場合の 21 年 3 月期の業績予想および配当予想は以下のとおりです。

1. 21 年 3 月期の業績予想

		1 株当たり当期純利益 円 銭
連結業績予想	第 2 四半期連結累計期間	292.78
	通 期	492.97

2. 21 年 3 月期の配当予想

(基準日)	1 株当たり配当金		
	第 2 四半期末	期末	年間
21 年 3 月期 (予想)	円 銭 55.00	円 銭 55.00	円 銭 110.00

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、米国経済の減速や原油高を背景に企業収益が弱含むなど、踊り場の景気局面が続きました。

このような状況の中、当社、連結子会社および持分法適用関連会社は、経営資源を最大限に活用して増収努力を重ねるとともに、引き続き事業運営の効率化に取り組んでまいりました。

当第1四半期（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）の営業収益は前年同期比1.1%増の6,601億円となったものの、営業利益は物件費の増加等により、前年同期比2.6%減の1,199億円、経常利益は前年同期比0.3%減の946億円となりました。四半期純利益は固定資産売却益の増加等により、前年同期比16.0%増の637億円となりました。

〔事業セグメント別の状況〕

・運輸業においては、鉄道事業を中心に、さらなる安全性の向上を図りながら、新幹線ネットワークや首都圏の在来線ネットワーク等の利用促進と増収に努めてまいりました。

具体的には、ゴールデンウィーク期間中に新幹線の増発や指定席車両数の拡大を実施したほか、「山梨デスティネーションキャンペーン」など季節ごとに着地エリアを定めたキャンペーンの実施などにより、エリア内の観光流動の創造に努めました。また、「大人の休日倶楽部」については、会員サービスの充実と会員数の拡大を図りました。

一方で、岩手・宮城内陸地震の影響を受け、定期外収入において新幹線収入が減少したことなどにより、売上高は前年同期比0.4%減の4,658億円、営業利益は前年同期比6.1%減の903億円となりました。

・駅スペース活用事業においては、新規店舗の開業や既存店舗の活性化等に努めるなど、引き続き21世紀の新しい駅づくり「ステーションルネッサンス」を推進しました。飲料事業では、ミネラルウォーター「谷川連峰のうるおい天然水」の通信販売を開始しました。

これに加え、前期に開業した「グランスタ」（東京）等の効果もあり、売上高は前年同期比3.6%増の1,051億円となり、営業利益は前年同期比1.9%増の90億円となりました。

・ショッピング・オフィス事業においては、「グランデュオ蒲田」（東京）や「エスパルⅡ」（宮城）を開業したほか、集客力のある有力テナントの導入を積極的に進めました。

これに加え、前期に開業した「グラントウキョウ ノースタワーⅠ期、グラントウキョウ サウスタワー」（東京）等の効果もあり、売上高は前年同期比9.3%増の568億円となり、営業利益は前年同期比7.3%増の178億円となりました。

・その他事業においては、広告代理業では、駅広告や車内映像広告を中心とする交通広告の販売を促進しました。その他サービス業では、IC対応機器等の販売に努めたほか、「ジェクサー・フィットネスクラブメトロポリタン池袋」（東京）等を開業しました。

これに加え、前期に開業した「ホテルメトロポリタン丸の内」（東京）の効果もあり、売上高は前年同期比1.9%増の1,177億円となり、営業利益は前年同期比65.7%増の23億円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローについては、税金等調整前四半期純利益が増加したことや法人税等の支払額が減少したことなどにより、流入額は前年同期に比べ478億円増の1,037億円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローについては、固定資産の取得による支出が減少したことや固定資産の売却による収入が増加したことなどにより、流出額は前年同期に比べ149億円減の1,210億円となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローについては、社債の発行による収入が減少したことなどにより、流入額は前年同期に比べ583億円減の114億円となりました。

なお、当第1四半期末の現金及び現金同等物残高は、前期末に比べ54億円減の766億円となりました。

また、当第1四半期末の長期債務残高は3兆6,014億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想については、当第1四半期決算を踏まえ検討した結果、平成20年4月28日発表の第2四半期連結累計期間および通期の予想について変更いたしません。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①四半期財務諸表に関する会計基準の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号 平成19年3月30日改正）および「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号 平成19年3月30日改正）が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができるようになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

また、借手側の所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

なお、リース取引開始日が平成20年3月31日以前の借手側の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を適用しております。

これに伴う連結財務諸表およびセグメント情報に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	76,814	82,267
受取手形及び売掛金	225,500	248,059
未収運賃	23,323	31,798
短期貸付金	20,475	20,641
有価証券	79	89
分譲土地建物	5,441	5,508
たな卸資産	45,911	35,003
繰延税金資産	36,905	54,328
その他	42,540	32,756
貸倒引当金	△ 2,431	△ 2,495
流動資産合計	474,561	507,958
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,940,929	2,963,402
機械装置及び運搬具	623,101	638,261
土地	2,004,257	2,012,448
建設仮勘定	178,509	176,956
その他	34,532	46,946
有形固定資産合計	5,781,330	5,838,014
無形固定資産		
無形固定資産	128,119	131,231
投資その他の資産		
投資有価証券	198,750	175,928
長期貸付金	1,660	1,560
繰延税金資産	229,241	235,416
その他	48,293	53,215
貸倒引当金	△ 1,420	△ 1,435
投資その他の資産合計	476,525	464,685
固定資産合計	6,385,976	6,433,931
繰延資産	102	113
資産合計	6,860,639	6,942,002

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,956	48,287
短期借入金	162,249	171,801
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
1年以内に支払う鉄道施設 購入長期未払金	139,706	139,698
未払金	153,206	337,699
未払消費税等	8,815	4,616
未払法人税等	30,181	59,992
預り連絡運賃	13,716	16,100
前受運賃	97,005	89,400
賞与引当金	40,532	73,910
その他	280,639	218,985
流動負債合計	1,065,010	1,260,493
固定負債		
社債	1,294,404	1,244,404
長期借入金	616,309	622,588
鉄道施設購入長期未払金	1,317,653	1,317,661
繰延税金負債	2,136	2,010
退職給付引当金	625,201	617,085
その他	259,643	255,752
固定負債合計	4,115,349	4,059,503
負債合計	5,180,359	5,319,996
純資産の部		
株主資本		
資本金	200,000	200,000
資本剰余金	96,728	96,728
利益剰余金	1,323,059	1,278,942
自己株式	△ 2,635	△ 2,630
株主資本合計	1,617,153	1,573,039
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	36,708	24,372
繰延ヘッジ損益	409	△ 1,014
評価・換算差額等合計	37,118	23,358
少数株主持分	26,008	25,607
純資産合計	1,680,280	1,622,005
負債純資産合計	6,860,639	6,942,002

(2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業収益	660,156
営業費	
運輸業等営業費及び売上原価	415,530
販売費及び一般管理費	124,634
営業費合計	540,165
営業利益	119,991
営業外収益	
受取利息	82
受取配当金	2,231
持分法による投資利益	375
雑収入	3,002
営業外収益合計	5,691
営業外費用	
支払利息	30,234
雑支出	846
営業外費用合計	31,081
経常利益	94,601
特別利益	
固定資産売却益	14,769
工事負担金等受入額	6,970
その他	533
特別利益合計	22,273
特別損失	
工事負担金等圧縮額	6,686
その他	2,179
特別損失合計	8,866
税金等調整前四半期純利益	108,009
法人税、住民税及び事業税	28,803
法人税等調整額	15,030
法人税等合計	43,833
少数株主利益	423
四半期純利益	63,751

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	108,009
減価償却費	82,581
長期前払費用償却額	1,267
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	8,111
受取利息及び受取配当金	△ 2,314
支払利息	30,234
工事負担金等受入額	△ 6,970
固定資産除却損	3,604
固定資産圧縮損	6,686
売上債権の増減額 (△は増加)	31,245
仕入債務の増減額 (△は減少)	△ 65,023
その他	△ 32,351
小計	165,081
利息及び配当金の受取額	2,363
利息の支払額	△ 6,457
法人税等の支払額	△ 57,223
営業活動によるキャッシュ・フロー	103,763
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形及び無形固定資産の取得による支出	△ 166,319
有形及び無形固定資産の売却による収入	23,836
工事負担金等受入による収入	23,631
投資有価証券の取得による支出	△ 1,215
その他	△ 1,012
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 121,080
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△ 7,350
社債の発行による収入	49,982
配当金の支払額	△ 19,984
その他	△ 11,168
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,477
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 5,838
現金及び現金同等物の期首残高	82,058
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	382
現金及び現金同等物の四半期末残高	76,601

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

（単位：百万円）

	運 輸 業	駅スペース 活用事業	ショッピング・ オフィス事業	そ の 他 事 業	計	消去又は全社	連 結
売上高及び営業損益							
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	451,308	101,032	54,564	53,251	660,156	—	660,156
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,542	4,145	2,270	64,466	85,424	(85,424)	—
計	465,850	105,177	56,834	117,717	745,580	(85,424)	660,156
営 業 費 用	375,529	96,171	38,978	115,339	626,018	(85,853)	540,165
営 業 利 益	90,321	9,006	17,856	2,377	119,561	(△ 429)	119,991

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(参考資料)

(1) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)
I 営業収益	652,850
II 営業費	529,653
1 運輸業等営業費 及び売上原価	409,026
2 販売費及び一般管理費	120,627
営業利益	123,196
III 営業外収益	4,250
1 受取利息及び受取配当金	1,911
2 持分法による投資利益	275
3 その他	2,064
IV 営業外費用	32,562
1 支払利息	31,657
2 その他	905
経常利益	94,884
V 特別利益	6,617
1 工事負担金等受入額	3,944
2 その他の特別利益	2,672
VI 特別損失	6,616
1 工事負担金等圧縮損	3,939
2 その他の特別損失	2,677
税金等調整前四半期純利益	94,886
法人税、住民税 及び事業税	19,794
法人税等調整額	19,578
少数株主利益	565
四半期純利益	54,947

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前四半期純利益	94,886
2 減価償却費	79,982
3 長期前払費用償却費	1,200
4 退職給付引当金の増加額又は減少額	4,852
5 受取利息及び受取配当金	△ 1,911
6 支払利息	31,657
7 工事負担金等受入額	△ 3,944
8 固定資産除却損及び圧縮損	7,414
9 売上債権の増加額又は減少額	28,615
10 仕入債務の増加額又は減少額	△ 75,880
11 その他	△ 29,399
小 計	137,472
12 利息及び配当金の受取額	2,076
13 利息の支払額	△ 4,850
14 法人税等の支払額	△ 78,825
営業活動によるキャッシュ・フロー	55,873
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 有形・無形固定資産の取得による支出	△ 178,769
2 有形・無形固定資産の売却による収入	4,252
3 工事負担金等による受入	27,701
4 投資有価証券の取得による支出	△ 3,092
5 その他	13,838
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 136,069
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 社債の発行による収入	98,327
2 長期債務の返済による支出	△ 8,631
3 自己株式の取得による支出	△ 12
4 配当金の支払額	△ 17,986
5 その他	△ 1,822
財務活動によるキャッシュ・フロー	69,874
IV 現金及び現金同等物の増加額又は減少額	△ 10,321
V 現金及び現金同等物の期首残高	86,980
VI 連結子会社追加等に伴う増加額	673
VII 現金及び現金同等物の四半期末残高	77,331

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(3) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日）

（単位：百万円）

	運 輸 業	駅スペース 活用事業	ショッピング・ オフィス事業	そ の 他 事 業	計	消去又は全社	連 結
売上高及び営業損益							
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	453,023	97,596	49,967	52,263	652,850	—	652,850
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,536	3,966	2,049	63,307	83,860	(83,860)	—
計	467,559	101,563	52,017	115,570	736,711	(83,860)	652,850
営 業 費 用	371,338	92,725	35,375	114,135	613,575	(83,921)	529,653
営 業 利 益	96,221	8,837	16,641	1,434	123,135	(△ 60)	123,196

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。